

小2国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 72.0%

ねらい：漢字の読み方の知識を問う。

分析と対策：一年生の復習です。(3)は「大」「木」ともに音読みになります。

2 漢字の書きとり 95.3%

ねらい：漢字の書き方の知識を問う。

分析と対策：一年生の復習です。字の形について注意を向けてください。(1)の「石」のはらいは一画目の上に出ないこと、(2)の「夕」の三画目は二画目から突き出ないこと、(3)では「学」の上の三つの点の向きについて確認しておきましょう。

3 ことばのきまり 95.0%

ねらい：助詞についての知識を問う。

分析と対策：「が・を・の・へ」など、文脈に合う適切な助詞を補えるかを問う問題です。「なにの」「なにが」「なにを」などのことばの役割を理解させるとともに、「へ」「を」は、「え」「お」と発音は同じで表記が異なることに気づかせてください。また、助詞を間違えると、文の意味が変わったり、文が成立しなくなったりすることがあるので、助詞の使い方には注意を払うようにさせてください。

4 文をつくる 97.0%

ねらい：正しい文のつくりについて問う。

分析と対策：文の内容を読み取った上で意味が通るような適切なことばを当てはめることができるかを問う問題です。文の流れに沿って適切なことばを入れることができているかどうか、確認してください。

5 文しょうを読む 84.7%

ねらい：物語の場面や、登場人物の人物像、心情の読解や、文章の細部の内容を読み取る力を問う。

分析と対策：ゆうじが森のきつねに頼まれて、自分の模型飛行機をきつねの空色の種と取りかえた場面から始まる文章です。ゆうじは、種を庭の真ん中に埋めました。種から生えてきたのは「空いろの家」。初めは「まめぐらいの家」だったのが、成長してその家が小さくなっていく情景を想像しながら読み取ります。最初の家にはひよこが、次にねこ、ぶたと、家に入っていく動物のサイズが少しずつ大きくなっていく(家が大きくなっている)ことにも気づかせてください。(2)は場面の具体的な内容の把握を確認する問題です。(3)は「まめぐらい」という比喻が、文脈の中では「小さい」ことを意味していることに気づかせます。(4)(5)では、家が休まず成長していくのを見ているゆうじや動物たちの気持ちを読み取ります。(6)は内容一致の設問です。誤答の選択肢は、どの部分が本文と合っていないのかを考えさせてください。

全体の平均点は 88.9点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。